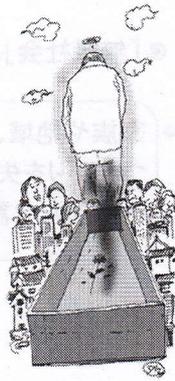


4. 無縁社会に向き合っ

- ◎ 世代を超えて広がっている無縁社会の問題に対して、

→ 「切られてしまった縁直し」ではなく「新たな縁づくり」



5. 「家族」から「加族」へ

- ◎ 家族は、「血縁」と「家系」を重視して構成されている集団を意味。
- ◎ しかし、急速な社会の変化によって、家族の形態も変化しているのが現実。



- ◎ 働くために家族の元から切り離されて上京した一人暮らしの人々。
- ◎ 寿命が延びて一人で生きている高齢者。
- ◎ 様々な理由で結婚しない未婚者、家族や文化から切り離されている外国人など...

→ 「血縁」、「家系」という概念で説明が出来ない「単独世帯」が、現在の家族を示す言葉であるといえよう。



- ◎ 血縁と家系のつながりではなく、加えて作り出す「加族」が必要。

→ 例えば、「里親制度」などが代表として考えられる。里親制度は、保護が必要な子供達の救い手として新たな加族を作り上げている。



6. ローターリーとの縁づくり

- ◎ 「頼れる」、「助けられる」⇒ 精神的な安心
- ◎ コミュニケーションの場 ⇒ 孤独感解消



7. 米山奨学生の縁作り

- ◎ 人間の「人」いう字は「一人ひとりが支えることによって完成できます」。
- ◎ 私は、ロータリアンの方々に助けてもらって今の自分がいます。これからは、私の出番です。

